

事業の目的・コンセプト

山武地域において、地域資源である農林系バイオマスを高度利用していく木質プラスチック製造事業を展開して、地域循環型バイオマスビジネスモデルの創出を図る。

千葉県農林系バイオマスを利活用する「木質プラスチックビジネス」の創出

木質プラスチック供給システムの確立

国内プラスチック製品市場
約1,200万ト/年

石油系プラスチック

生分解性
プラスチック

ポリ乳酸
ほか

ウッド
プラス
チック

バイオマスプラスチック

木質プラスチック・
コンパウンド製造の事業化

革新的な木質プラスチック
製造技術の研究開発

低価格な製品の供給
(品質管理、生産性向上)

森林整備と連携したバイオ
マス活用システムの構築

地域資源
の活用

林業者、千葉県、山武市

連携

大学等・研究機関、企業、NPO

- ◇県内の農林業から発生又は潜在する農林系バイオマスを活用
- ◇産学官連携により新たなバイオマス事業を推進する研究プロジェクト
民間企業、千葉工業大学、千葉大学、森林総研、山武市、千葉県ほか

農林資源を地域で工業原料化する新産業の創出

農林系バイオマスを原料とする新規な木質プラスチックを小規模施設で地域生産して、プラスチック成形品市場で、新たなマーケットを開拓する木質バイオマスビジネスを創出

地産地消型木質プラスチックビジネスの展開

長期生産目標
27千ト/年

地域循環型バイオマス
コミュニティの構築

地域ブランド化
地域分散型生産

新たな技術開発
関連企業等と連携

マーケティング
戦略的な市場開拓

波及効果

取組みの波及効果

エコプロダクツの普及

国産バイオマスプラスチックを供給することで、さまざまな製品のエコプロダクツ化を推進



農林業振興と地域活性化

未利用農林資源をプラスチック原料とすることで、農業・林業・木材産業の振興と地域の活性化を推進



現状と課題

- ◇林業の低迷や被害による荒廃が進み林内に大量放置されている未利用森林資源を木質バイオマスとして工業的に利活用
- ◇競争力のあるバイオマスプラスチック製造技術確立のための研究開発
- ◇低価格な木質プラスチックのブランド化、プラスチックマーケットの開拓

間伐対象・被害木の県内分布

